

目標とする初年度売上高  
380億円は射程距離に入  
った(大阪府堺市のダイヤ  
モンドシティ・プラウ)



# 1位 ダイヤモンドシティ 変化は財産なり

**大**阪府堺市。臨海部に位置する新日本製鉄(旧八幡製鉄)堺製鉄所から、南東方向へ延びるバス通りがある。府道「大堀堺線」。この道を5kmほど進んだ東浅香山町にはかつて、27棟・1370戸から成る新日鉄の社宅があった。高度成長期にまだ若かった「団塊の世代」の社員たちが家路を急いだこの道を、ベテランのタクシー運転手たちは、今も当時の名前で「八幡道路」と呼ぶ。

1990年に高炉の火が消え、工場の労働者が減って社宅は取り壊された。

そして、長い間の更地を経て、同じ場所に昨年10月に出現した巨大なSC(ショッピングセンター)「ダイヤモンドシティ・プラウ」に、今度は「団塊ジュニア」と呼ばれる世代の家族客が少しよそ行きの格好で詰めかける。

八幡道路に面する敷地の南側には阪急百貨店、通りから離れた北側にはジャスコが西日本最大級の店舗を構える。この2つの核店舗をつなぐ全長250m、4層吹き抜けの空間には160店舗の専門店が並ぶ。これ全体で1つのSCだ。敷地面積は阪神甲子園球場

の1.5倍に相当する5万8000m<sup>2</sup>で、SCの延べ床面積は17万m<sup>2</sup>を超える。

この巨大なSCを開発し、運営するデベロッパーがダイヤモンドシティ。西日本を中心に、全国17カ所の主要都市近郊でSCを運営している。69年、イオンと三菱商事が共同出資して設立した。今も両社が筆頭株主だ。

ダイヤシティは2005年2月期の1年間で、この堺を含め全国6カ所に巨大SCを開業した。このうち、2004年3月、京都と広島に開業した「ハナ」と「ソレイユ」はそれぞれ島津製作所と